

第43回日本救急医学会総会(2015年10月21日から23日 於東京国際フォーラム) 報告

★託児所: 学会開始時刻の30分前から 終了時刻の30分後まで open していただくよう
事前に依頼。

10/21 8:30~19:00 (学会 9:00~ 18:00) 利用者 7名

10/22 7:30~18:00 (学会 8:30~17:30) 利用者 11名

10/23 8:30~16:30 (学会 9:00~16:30) 利用者 6名

計24名(予約人数は29名)

2014年利用者数 22名 2013年利用者数 10名

★ 第3回 “男性も入れる” 女性医師ラウンジ

{ラウンジ来訪者数}

10/21 男性39名 女性35名 計75名 10/22 男性41名 女性40名 計81名

10/23 (午前のみ) 男性16名 女性17名 計33名

3日間総計 男性 96名 女性 93名 計189名

2014年 来訪者数 男性136名 女性137名 計273名

2013年 来訪者数 男性20名 女性59名 計79名

{アンケート結果 (男性77名・女性74名 計151名)}

卒後年数 1~2年:10名

3~5年:15名

6~10年:35名

11~15年:28名

16~20年:13名

21~30年:27名

31~40年:12名

41年以上:6名 不明:5名

訪問回数 (2013年・2014年・2015年)

初回:107名 2回目:30名

3回目:14名

新たに26名がメンバー登録希望

●ラウンジのよかった点・改善点について

=アメニティ=

BGMがよい。5

スイーツやお茶・コーヒーがよい。40

スイーツのバリエーションが増えるといいですね。

くつろげる。居心地がよい。ゆっくりできる。33

人とともに場もとっても明るい雰囲気です。

スカイラウンジのようにスマートでセレクトな感じがした。優雅。2

清潔感があってよい。男性が入ってよいと知らなかった。

ラウンジ訪問者卒後年数



座れてよかったです。2

=location/設備=

もう少し間口が広いと入りやすいと思う。

もう少し目立つ場所の方が入場者が多かったかもしれません。ベビーシッタールームを隣に作るといいかも。

子供もつれてこれで助かりました。

昨年以上に男性 Dr もたくさんいらっしやってよい雰囲気でした。

昨年よりも たちよりやすい印象を受けました。入りやすい雰囲気でした。 5

入るのに躊躇するタイトルですね（ラウンジの名前）

椅子とテーブルがもう少し多いとよい。

=スライド=

”イクメン” が面白い

スライドが励みになる、参考になる。たくさんの仲間がいると嬉しくなる。刺激をうける。

8

スライドが増えて、より多くの人の経験が共有できていたと思う。パワーポイントが充実していてよかったです。 2

スライドをもっとみたいと思いました（またみに来ます）

スライドの女性救急医師はみんなパワフルだと思いました。

スライドで女性医師の葛藤・率直な思いがわかる。 3

先生がたのスライドを好みの順で拝見できることもよいと思いました。 2

女性医師の悩みは男性にもつながるので、永く働く職場環境を考えるきっかけになっていいと思う。

女性医師の環境改善のためには、夫である男性医師の環境も改善されるといいと思いま」す。男性医師の QOL 向上も訴えることは重要と感じます。 2

進路科を決めるにあたり、多くの女医さんの働き方がみられてよかった。

女性医師の今後についていろいろと考えさせられる落ち着いた空間だと思いました。

スライドを web でもみられるようにすれば今後の増員に役立つのでは？

=その他=

男性がとても多いと思った。 2

男性も入れてよかったです。 3 「男性も入れる」と書いてあるとほんとによいですね。

育児をしてみたくなった。

いろいろと話ができてよい。同じ女性救急医の先生と直接話ができてよかった。 4

学会活動内でのこういった会をやっていることを初めて知りました。

がんばってらっしゃる若い女医の先生方の奮闘ぶりをみて、いつも驚かされます。女医の働きやすい職場は男性の医師も結局働きやすいということを早く おじい様の医師達に気づいてほしいです。

相談コーナーがあるともっとよい。

普段お目にかかれないような先生ともお話できてよかったです。

昔は女医はいてもいなくてもよかったです。すべて自分で考えてやるしかなかった。よい時代になったと思います。ここにすればやる気ができるのではないのでしょうか？

●委員会活動に期待すること

「救急医」の男性女性区別なく、家庭の事情を考慮できる職場環境づくり。相乗効果で救急に携わる医師不足を軽減してほしい。

医学会の中で、もっとも早く男性の育休推進の宣言をしてメディアに注目を集めてほしい。

医学生約半数が女性となっているので、女性医師の獲得が今後の救急医療の未来を支えると思っています。

いつでもアクセスできそうな安心感が大事だと思うので、企画があるとき以外にも存在を感じてられるようにと思います。(ホームページなど)

学会でのラウンジの様子をもっと広まるといいなと思います。

キーワードはこのラウンジのように仕事においても「なごめる」ということでしょうか？ 女性医師が多く救急医になっていただくには、「なごみ」が必要でしょう。

救急医同士で結婚したのですが、同じような人がいるのか知りたくて立ち寄ってみました。女医ならでの子育ての苦労とか広めてもらえると嬉しいです。

救急医のすそ野の拡大

救急医のみならず、医師の働く環境が少しでも改善され燃え尽き症候群などが、なくなっていくような社会的発信・提言などを期待します。

継続していけるよう頑張ってください。 8

子連れで学会参加しやすくしてほしい

子供と一緒に学会参加できること。例：目の届くところに子供が遊んでいられて各会場の講演が中継（ネット）で診られるプレイルーム。 * 我が家も妻が産婦人科なので仕事と家庭をいかに両立するかかなり大変です。委員会のご活躍に期待しています。

このようなラウンジを続けること 5

働く環境をよくするアンケート調査などをもっと行ってもいいと思います。

今後の専門医制度の変更に伴い、育児や介護期間がある程度猶予されるよう働きかけてくださることを期待しています。様々な勤務形態でも救急医として継続可能となるような専門医制度などを提案していただければと思います。 3

こんな委員会が存在する意味がなくなる時代が早くくるといいですね

埼玉医科大学総合医療センターでは、産休・育休・時短・非常勤一類（保険・年金などすべて加入・働いた分の給与あり）・当直免除・日曜休みなどを可能としており、女性が継続的に働ける組織を作っています。引き続きがんばってください。

雑談をする人がたくさんおられるのがいいと思います。若い人がたくさんいるとよい。

時間をかけて「救急医の未来を考えていくにあたってこの委員会の存在や活動がいか
に重要か」を学会員全体に伝えていってほしいです。

市中病院でがんばっている女性救急医の話も聞いてみたいです（システムについてな
ど）

出産・育児だけでなく、病気などからの復職などもテーマに挙げていただけるといい
と思います。

女医さん同士で話ができればよいと思います。

女医復帰プログラム 2

女性医師に直接相談できるとよい。

女性医師をサポートする活動を広めてください。 3

女性会員を増やしましょう

女性が救急医になりやすいよう改善点を提言してほしい。

女性救急医職場の斡旋 女性に働きやすい施設紹介の場 2

女性救急医の活躍のフィールドを増やしていってあげてほしい。

女性だけの仕事のしやすさを検討するだけでなく、男性を含めた職場環境の改善を検
討していただきたいです。 男性から反感をかわないようにするために。

女性のロールモデルを見つけられるような機会が多くあると嬉しいです。

大変貴重な活動です。日本医師会・地区医師会で女性医師の支援活動を十数年やって
まいりましたが、もう少し学会をこえた形での連携ができればと考えます。 また、女
性医師が特別と考えず男女補い合い助け合う関係になるとよいのですが。

男女に限らず、「救急医が救急医として働ける」しくみの構築が必要と考えます（⇒そ
の前に事例が必要）

男性育児における工夫・ワークライフバランスに取り方についてもっと知りたいと思
いましたが、まだまだ男性側の情報が少ないと感じました。

男性と女性の協力について 具体的な企画があればよいかなど。多分まだ偏見はあ
ると思うので。

父親の子育てを現実的にする取り組み。具体案はよくわかりませんが。

林先生に続くイクメンを是非ご紹介ください。

もっと女性の救急医が働きやすいようにしましょう。

休みから戻ってくる際の再教育システムの構築

よい労働環境を作るように続けてください。 4

ロールモデルの提示

ワークライフバランスがうまくとれるようなワークスタイルであれば、男性も家事
を行いやすく、女性も働きやすいのかもしれない。

若手女性救急医の婚活などいかがでしょうか？